

総論	1	
第1章 総論	1	
1・1 序論	1	
1・2 中医診断学の範囲と原則	1	
1・2・1 審察内外	1	
1・2・2 辨証求因	2	
1・2・3 四診合参	2	
1・3 「中医診断学」の主要内容	3	
1・4 学習する内容と方法	3	
第2章 四診	5	
2・1 望診	5	
2・1・1 望神	5	
2・1・1・1 神の概念	5	
2・1・1・2 得神・失神・假神	6	
2・1・1・3 神気不足と神志異常	7	
望神での注意事項	8	
(1) 望神の原理と意義	8	
2・1・2 望面色	8	
2・1・2・1 面部望色の原理と臨床意義	9	
2・1・2・2 面部と臓腑の関係部位	9	
2・1・2・3 望色の十法	10	
2・1・2・4 常色と病色	10	
2・1・2・5 色・脈・症合参	15	
2・1・3 望形態	16	
2・1・3・1 望形体	16	
2・1・3・2 望姿態	18	
2・1・4 頭・五官・九竅の望診	20	
2・1・4・1 頭面、頸項、髪	20	
2・1・4・2 目の望診	24	
2・1・4・3 耳の望診	27	
2・1・4・4 望鼻	29	
2・1・4・5 口唇の望診	30	
2・1・4・6 歯、齦(歯茎)の望診	31	
2・1・4・7 咽喉の望診	32	
2・1・4・8 下竅の望診	33	
2・1・5 皮膚の望診	35	
2・1・5・1 皮膚の色艶の望診	35	
2・1・5・2 皮膚潤枯の望診	36	
2・1・5・3 皮膚の腫脹	37	
2・1・5・4 痘瘡の望診	37	
2・1・5・5 斑と疹の望診	37	
2・1・5・6 白陪と水疱	39	
2・1・5・7 癰、疽、疔、癩	40	
2・1・6 脈絡の望診	41	
2・1・6・1 小児人差指の絡脈の望診	41	
2・1・6・2 望角際脈絡	44	

2・1・6・3	指爪の色と形の望診	45	
2・1・7	排泄物と分泌物の望診	45	
2・1・7・1	痰涎涕唾の望診	46	
2・1・7・2	嘔吐物の望診	47	
2・1・8	望舌	48	
2・1・8・1	舌診の臨床意義	48	
2・1・8・2	舌と臓腑の関係及び舌診の原理		50
2・1・8・3	舌診の方法と注意事項	51	
2・1・8・4	舌診の内容	54	
2・1・8・5	舌質と舌苔の総合診察	72	
	望診のまとめ	80	
2・2	聞診	81	
2・2・1	声音を聞く	81	
2・2・1・1	正常な声	81	
2・2・1・2	病的な声	82	
2・2・2	臭いを嗅ぐ	88	
2・2・2・1	身体の匂い	88	
2・2・2・2	病室の匂い	88	
	聞診のまとめ	89	
2・3	問診	89	
2・3・1	一般状況を問う	90	
2・3・2	生活史（生活習慣）を問う	90	
2・3・3	家族の病歴と既往歴を問う	91	
2・3・4	発病を問う	91	
2・3・5	現在の症状を問う	91	
2・3・5・1	寒熱を問う	92	
2・3・5・2	汗の問診	94	
2・3・5・3	頭身を問診	97	
2・3・5・4	胸脇胃（腕）腹を問診	100	
2・3・5・5	耳目を問診	104	
2・3・5・6	飲食と味の間診	105	
2・3・5・7	睡眠を問診	110	
2・3・5・8	二便を問診	112	
2・3・5・9	女性の間診	115	
2・3・5・10	小児を問診	118	
	問診のまとめ	119	
2・4	切診	120	
2・4・1	脈診	120	
2・4・1・1	脈象の形成原理と脈診の臨床意義		120
2・4・1・2	脈診の部位	121	
2・4・1・3	脈診の方法と注意事項	122	
2・4・1・4	平脈(健康な脈)	124	
2・4・1・5	病気の脈	125	
2・4・1・6	女性の脈診	138	
2・4・1・7	小児の脈診	138	
2・4・1・8	相兼脈と主病	139	

2・4・1・9	脈症順逆、そして従捨	140
2・4・2	按診	141
2・4・2・1	按診の方法と意義	141
2・4・2・2	按診の内容	142
	胸腹部の区分図	144
	切診のまとめ	147
第3章	八綱	148
3・1	表裏	149
3・1・1	表証	149
3・1・2	裏証	150
3・1・3	表証と裏証の鑑別要点	151
3・1・4	表証と裏証の関係	151
3・1・4・1	表裏同病	151
3・1・4・2	表裏出入	151
3・2	寒熱	152
3・2・1	寒証	153
3・2・2	熱証	153
3・2・3	寒証と熱証の鑑別要点	154
3・2・4	寒証と熱証の関係	154
3・2・4・1	寒熱錯雑	154
3・2・4・2	寒熱転化	155
3・2・4・3	寒熱真假	156
3・2・5	寒熱と表裏の関係	158
3・2・5・1	表寒証	158
3・2・5・2	表熱証	158
3・2・5・3	裏寒証	158
3・2・5・4	裏熱証	158
3・3	虚実	159
3・3・1	虚証	159
3・3・2	実証	160
3・3・3	虚証と実証の鑑別要点	160
3・3・4	虚実の錯雑、転化、真假	161
3・3・4・1	虚実錯雑	161
3・3・4・2	虚実転化	162
3・3・4・3	虚実真假	163
3・3・5	虚実と表裏寒熱の関係	164
3・3・5・1	表虚証	164
3・3・5・2	表実証	165
3・3・5・3	裏虚証	165
3・3・5・4	裏実証	165
3・3・5・5	虚寒証	165
3・3・5・6	虚熱証	165
3・3・5・7	実寒証	166
3・3・5・8	実熱証	166
3・4	陰陽	166
3・4・1	陰証と陽証	166

3・4・1・1	陰証	167	
3・4・1・2	陽証	167	
3・4・1・3	陰証と陽証の鑑別要点	168	
3・4・2	真陰不足と真陽不足	169	
3・4・3	亡陰と亡陽	169	
	八綱のまとめ	170	
	第4章 弁証	171	
4・1	病因弁証	172	
4・1・1	六淫、疫癘(えきらい)弁証	172	
4・1・1・1	風淫証候	172	
4・1・1・2	寒淫証候	172	
4・1・1・3	暑淫証候	173	
4・1・1・4	湿淫証候	173	
4・1・1・5	燥淫証候	174	
4・1・1・6	火淫証候	174	
4・1・1・7	疫癘証候	175	
4・1・2	七情証候	177	
4・1・3	飲食労傷	178	
4・1・3・1	飲食による傷	178	
4・1・3・2	労逸による傷	178	
4・1・3・3	房勞の傷	179	
4・1・4	外傷	179	
4・1・4・1	金刃傷	179	
4・1・4・2	虫や動物による傷	180	
4・1・4・3	打撲傷	180	
4・2	気血津液弁証	181	
4・2・1	気病弁証	181	
4・2・1・1	気虚証	181	
4・2・1・2	気陷証	182	
4・2・1・3	気滯証	182	
4・2・1・4	気逆証	183	
4・2・2	血病弁証	183	
4・2・2・1	血虚証	183	
4・2・2・2	血瘀証	184	
4・2・2・3	血熱証	185	
4・2・2・4	血寒証	186	
4・2・3	気血同病弁証	186	
4・2・3・1	気滯血瘀	186	
4・2・3・2	気虚血瘀証	187	
4・2・3・3	気血両虚証	187	
4・2・3・4	気不摂血証	188	
4・2・3・5	気随血脱証	188	
4・2・4	津液弁証	189	
4・2・4・1	津液不足証	189	
4・2・4・2	水液停聚(ていじゅ)	190	
4・3	臟腑弁証	194	

4・3・1	心と小腸病の弁証	194	
4・3・1・1	心気虚と心陽虚、心陽暴脱		194
4・3・1・2	心血虚と心陰虚	196	
4・3・1・3	心火亢盛	196	
4・3・1・4	心脈痺阻	197	
4・3・1・5	痰迷心竅	199	
4・3・1・6	痰火擾心	200	
4・3・1・7	小腸実熱	201	
4・3・2	肺と大腸病の弁証		201
4・3・2・1	肺気虚	201	
4・3・2・2	肺陰虚	202	
4・3・2・3	風寒束肺	202	
4・3・2・4	寒邪客肺	203	
4・3・2・5	痰湿阻肺	204	
4・3・2・6	風熱犯肺	205	
4・3・2・7	熱邪壅肺	205	
4・3・2・8	燥邪犯肺	206	
4・3・2・9	大腸湿熱	207	
4・3・2・10	大腸液虧	208	
4・3・2・11	腸虚滑瀉	208	
4・3・3	脾と胃病の弁証		209
4・3・3・1	脾気虚	209	
4・3・3・2	脾陽虚	210	
4・3・3・3	中気下陷	211	
4・3・3・4	脾不統血	211	
4・3・3・5	寒湿困脾	212	
4・3・3・6	湿熱蘊脾	213	
4・3・3・7	胃陰虚	214	
4・3・3・8	食滞胃脘	214	
4・3・3・9	胃寒	215	
4・3・3・10	胃熱	216	
4・3・4	肝と胆病の弁証		217
4・3・4・1	肝気鬱結	217	
4・3・4・2	肝火上炎	217	
4・3・4・3	肝血虚	218	
4・3・4・4	肝陰虚	219	
4・3・4・5	肝陽上亢	219	
4・3・4・6	肝風内動	220	
4・3・4・7	寒滞肝脈	223	
4・3・4・8	肝胆湿熱	223	
4・3・4・9	胆鬱痰擾	224	
4・3・5	腎と膀胱病の弁証		224
4・3・5・1	腎陽虚	225	
4・3・5・2	腎陰虚	226	
4・3・5・3	腎精不足	226	
4・3・5・4	腎氣不固	227	

4・3・5・5	腎不納気	228
4・3・5・6	膀胱湿熱	229
4・3・6	臓腑の兼証	229
4・3・6・1	心腎不交	230
4・3・6・2	心脾両虚	230
4・3・6・3	心肝血虚	231
4・3・6・4	心腎陽虚	232
4・3・6・5	心肺気虚	232
4・3・6・6	脾肺気虚	233